

由布川っ子



由布市立由布川小学校
学校通信 第23号
令和5年9月11日(月)
文責 校長 森次 晃

応援団きめ「オーディション」

いよいよ、運動会が近づいてきました。それに伴い5・6年生は運動会の係決めをするのですが、希望の多い応援団については、単に希望で決めるのではなく、その決意やパフォーマンスを、子どもたちの前で披露して、投票で決めるいわゆる「オーディション」を行っています。

団長、副団長のオーディションがまず行われ、その後応援団員のオーディションが行われます。今回は6年生の様子を少し紹介します。



応援団の希望者は自己紹介の後、なぜ応援団を希望したのか、また、自分の覚悟等をみんなの前で発表します。子どもたちはIPADで、投票するとともに選んだ理由も記入していきます。6年部の先生はそれを集計し、最終的な応援団を発表するということとなります。選考は、子どもたちの投票数+パフォーマンスの様子(声の大きさ等)+決意表明の内容等を総合的に考慮しました。その結果応援団を決定しました。

一時期、応援団の希望者が少ない時もありました。応援団が休み時間も返上して練習する様子を見たり、みんなの前でパフォーマンスをする様子を見て、責任や大変さを実感したりしたからだと思います。しかし、ここ何年かは応援団の素晴らしさにあこがれ、挑戦してみたいという子どもたちが増えてきました。とても素晴らしいことだと思います。

オーディション直後に、応援団を希望した子どもたちの様子を見にいったのですが、無事に選ばれるだろうか、心配している姿が見られました。応援団に選ばれた人は、落選した人の思いも背負って頑張ってもらいたいし、落選した人は、逆に応援団ではなくてもみんなを応援する気持ちを持って運動会に臨んでほしいと思いました。

そして結団式



9月8日(金)運動会練習の始まりとなる、結団式がありました。初めての応援団としての取組、緊張する様子も見られましたが、精いっぱいのパフォーマンスを見ることができました。

また、下級生に応援の仕方を優しく、丁寧に指導する姿を見て安心しました。来るべき本番が楽しみです。

今回から応援の得点は、応援合戦の点数だけでなく、協議中の応援風景も点数に入れるようにしたいと考えています。一丸となってどれだけ頑張れるか楽しみです。